

予算編成

来年度当初予算について

町民ニーズに応える編成を／町長



ひさお 比佐夫 議員
むらこし 村越

問 当初予算の基本姿勢が行政から見えてこない。町として雇用対策、労務対策、労務者の仕事保障といった町民ニーズに応えるような予算説明が出来る編成であるのか。低所得者、日雇い労働者の雇用ができるような事業費が非常に少ない。地域住民のことを十分内部で検討し、予算を組み立てる必要があるのではないか。

答

下村町長

昨年黒潮町の総合振興計画が制定された。そこには地域と協働して実施していくという基本構想の下に、産業振興、福祉の充実、教育文化の振興、基盤整備などの具体策の指針を定めてある。この計画に沿って、来年度の予算を編成している。

雇用の問題など大変重要で、いかに雇用をからめていくか工夫が必要だ。町民のニーズに応えるべく、町民の満足度を意識しながら予算編成をしている。

答

下村町長

ふるさと納税は昨年度創設され、これまで寄付金をいただいた方は平成20年度が6人、336万5千円。平成21年度が6人、731万円、合計1067万5千円になっている。

ふるさと納税をいただいた方への対応は、取扱要綱を定め100万円以上の方には感謝状と記念品をお贈りし、その他の方々には、町長の礼状と特産品を贈らせていただいている。納税者からの苦情があった

寄附金

ふるさと納税
について

非常に反省している
／町長

問

ふるさと納税者は今まで、何人で、総額はどれくらいあったのか。納税者から、「きちんと入っているだろうか」「届いているだろうか」と心配の声が届いているが、行政として対応が悪いのではないか。ふるさと納税をしてくれた人たちに対して失礼ではないか。

交通安全

入野小への通学路に白線を 実施する ／大方まちづくり課長

ことは非常に反省しており、今後こういったことのないよう努める。

問

児童の通学路の安全面を考えると、入野小学校通学路に白線を引き、交通安全の面からも児童を守る必要があるのではないか。車の通行の激しい所でもあるので、街頭指導も行っているようだが、その時間帯以外でも、子どもの目で見ても分かるよう白線を引き、注意をはらう必要があるのではないか。まちづくりの基本的なあり方ではないか。

答

松田大方まちづくり課長

9月議会に質問があり、その後現地に調査し、小学校の先生とも協議をして、必要であるという判断はしている。実施に向けて検討中に、現地のスーパールの向かい側、浜の方に行く箇所の舗装と横断歩道が傷んでおり、住民からそこもあわせてやって欲しいとの要望があり、現在その方向で進めている。

